

(事業報告書様式1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	こども自然公園自然体験施設
所在地	横浜市旭区大池町 65-1
公園面積、公園種別	464,118 m ² (うち、指定管理区域：約 56,000 m ²) 広域公園
主な施設	水田、湿地、雑木林、畑、建物等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代中期に灌漑用水池として作られた大池を中心に、丘陵地にゆったりとした良好な自然が残され四季折々の景観を楽しむことができる。 ・万騎が原ちびっこ動物園・青少年野外活動センターなどが併設され多様な形で自然を理解することができる。 ・自然体験施設は、谷戸田や雑木林などのかつての里山が残されているエリアに設置されている。
公園開園日	1972 (昭和 47) 年 6 月 5 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人こども自然公園どろんこクラブ
代表者名	佐々木明男
所在地	横浜市旭区大池町 65-1
指定管理期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成22年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

- ① 谷戸田や雑木林をフィールドとして、農作業を通じた自然体験により自然の大切さを実感するとともに収穫の喜びを得る場とする。
- ・管理エリアである水田、畑、里山エリアを活動拠点とする年間コースを開設した。
 - ・水田では、一般公募で水田体験をする場を年6回開催した(タノシゴトシリーズ)。
- ② せせらぎや谷戸田の水辺の自然環境がもたらす豊かな生態系の維持保全を図る活動を推進する。
- ・水田は冬場に水を溜め(冬期湛水)、カエルをはじめとする生きものの生態系の維持保全を行った。
 - ・せせらぎや湿地は、定期的に泥上げを実施した。
- ③ 参加者はこどもを主体としながらその家族や近隣の小学校、周辺住民へと輪を広げ、世代間の交流や多様な自然とのふれあいを創出する。
- ・将来を担う子どもたちに身近な自然を知ってもらえるよう、近隣小学校を含む小学校の遠足や校外学習の機会には、環境学習の要素を必ず取り入れ実施した。
- ④ 水田での稲作及び周辺の自然を活かした自然体験活動を行ない、子どもの健全な育成に寄与するとともに、公園の有効活用及び地域の振興を図る。
- ・①を実施することで自然体験を行ない、さらに収穫した米や野菜などを利用したイベントの開催を定期的に行ない、地域の皆さまにも広く楽しんで親しんでいただいた。
- ⑤ 動植物の生態系を管理するため、指標生物のモニタリング調査をゾーンごとに行なう。
- ・【雑木林エリア】ここ数年続いていたカシノナガキクイムシの被害が少し落ち着いてきた。被害木が増えたことにより、樹液を出す木が増え、カブトムシやクワガタ類の姿が一昔前に比べ若干増えてきた。
 - ・【湿地のあるエリア】この10年で湧水量の減少が続き、湿地を保つことが難しくなり、アシやスゲ類の勢いが増しているため、今年度も定期的な開墾作業を続けた。また、公園の整備とともに造成された部分に関しては、チョウのためのガーデン作りをはじめとした、来園者が見て楽しんでもらえるような場所として手入れを継続した。

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

利用促進では、身近な公園に自然体験をする場があることを多くの人に知ってもらうため、定期的な一般の方が参加できるイベントを開催。例えば水田では、タノシゴトシリーズを開講し、単発でも水田を体験できる場を開催した。また、収穫物を利用するイベント（どんど焼き、梅の花茶屋、さくら茶屋、こどもの日まつり）のほか、外部開催のジャズまつりに協力をし、五平餅やお餅、お団子等の提供をした。

市民協働等については、年間の各コースで継続して参加してもらう場（ボランティア活動）を設けることで、自分たちが経験したことを次年度以降も繋いでいけるよう心がけ、本年度もそれぞれのコースで新たなボランティア継続家族を獲得した。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

① 自然体験施設の「維持管理基本水準書」、「自然体験施設等維持管理マニュアル」に従って管理をしていきます。

管理作業を行なう際には、上記2つの水準書とマニュアルに沿った作業となるよう、スタッフと打ち合わせを行ない実施した。

② 横浜に残された雑木林や湿地(田んぼ)などを維持し、生態系の豊富化をはかります。

・利用者が安心して、安全快適に過ごせるように施設の維持管理を行ないます。
→活動前には必ず下見を行ない、安全に活動できるよう整備を行なった。

・横浜に残された雑木林や湧水、谷戸田のある風景を残すための管理を行ないます。
・維持管理水準書に基づき、日常点検、巡回を行ないます。
・危険箇所の早期発見に努め、早めの対処をします。
・施設の清掃をこまめに行ない、清潔にします。

→日常的に巡回をすることで、危険箇所等を早期に発見し対処することができた。特に近年では、ゲリラ豪雨や春先の大風等、台風以外での天候でも危険な場合が多く、このような天候の後には必ず巡回を行なった。

・整理整頓をし、施設を気持ちよく利用できるようにします。
→四半期に一度は事務所内や倉庫を大々的な整理を実施した。

・維持管理の勉強会を開催し、スタッフへの教育を行ないます。

（例：ミジンコの学習会、カシノナガキクイムシ対策のための研修会等）

→今期は、新たな指定管理期間がスタートしたということで、管理基準の再確認を行なった。

・利用者とのコミュニケーションを大切にし、情報収集を行ないます。
 →園内を散歩されている方や、写真を撮っている方と顔を合わせた際には、挨拶をしながら立ち話をする事で、様々な情報交換をすることができた。たとえば、「どこそこでこんな花が咲きだしたよ」とか「この花にこんな虫が来てるよ」とか「珍しい鳥が立ち寄ってるよ」など、我々だけでは気づかない情報をたくさん教えていただいた。

・維持管理のための年間計画を立てます。
 ・スタッフミーティングを適宜行ない、計画のチェックを行ないます。
 →スタッフミーティングを開催し、情報の共有を行なった。

(事業報告書様式3)

令和4年度文化・自然体験施設利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入)

月別	文化・自然体験施設の利用人数	備考
4月	558人	各コース、一般公開(サクラ茶屋、謎スタ等)
5月	637人	各コース、一般公開(こどもの日、星空観察会、タノシゴト田起こし、田植え)
6月	175人	各コース、学校対応
7月	781人	各コース、学校対応、謎スタ、ジャズまつり協力等
8月	150人	相鉄学びクラブ
9月	252人	各コース、学校対応
10月	212人	各コース、タノシゴト稲刈り
11月	452人	各コース、学校対応、タノシゴト脱穀
12月	240人	各コース、タノシゴト餅つき
1月	699人	各コース、一般公開(どんど焼き)
2月	480人	各コース、一般公開(梅の花茶屋)
3月	164人	各コース、タノシゴト藁仕事
年間合計	4800人	

こども自然公園自然体験施設 令和4年度 事業報告書

(事業報告書様式4)

令和4年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額 (単位:円)	委託業者名または直 営かの記載
該当なし			
合計			

(事業報告書様式5)

令和4年度増減備品一覧 (※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その 他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
該当なし							

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	管理エリア内では該 当なし		

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	管理エリア内では該 当なし		

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	05.03.25	安全講習	草刈り機等の使用についての安全確認について

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
ひな祭り	市民の方から寄付していただいたお雛様をレストハウスに飾り、来園者の皆さまに観賞していただいた。また、お雛様に由来した植物の話を『大池つうしん』という形で読み物にし配布した。 初めての試みだったが、大勢の皆さまから、「なつかしい」「和む」等、好評のご意見を頂戴し、さらに「お雛様を寄付したい」「五月人形も飾ってほしい」などのご意見もいただいた。	不明	050217～ 050305

有料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業 収入(円)
さくら茶屋	畑のサトイモを蒸したものを販売。 おいしいと好評だった。	150	04.4.2	0	19,200
謎スタ	公園内を回りながら、自然に関連した謎を解いてゴールを目指す。 まだコロナ禍ということもあり、スタートを時間で分散させたおかげで、受付時やゴール時にも大きな混乱もなく実施できた。また、公園内の自然をテーマに謎を解く内容となっており、チョウの生態などについても知ってもらうこと	300	4.16	30,000	60,000

	ができた。				
自然体験コース体験料	年間を通し自然体験をするコース。水田、畑、里山の3コースを開設した。 毎年、倍率が高く、抽選をさせていただいている人気のコースだ。そのせいか、参加者の意欲も高く出席率もよい。1年では物足りない方もいて、毎年ボランティアとして次年度以降も登録をしてくれるシステムになっているが、今年度も各コースとも継続家族が残ってくれた。	166 (登録)	年間	30,000	514,000
こどもの日まつり	水田の体験活動で収穫したうるち米ともち米を使った五平餅等の販売を3日間実施。 水田で収穫した米を利用したが、お米がおいしいと好評だった。	300	5.3 ～ 5.5	5,000	31,608
星空観察会	街の灯りがあまり届かず、高いビルなどもない公園の環境を活かし、星空の観察会を2回実施。 1回目はあいにくの曇り空だったが、雲の切れ間から月を観察することができた。 2回目も夕方から雲が出てしまい、星空を観察することはできなかったが、室内で隕石の話をしてもらった。両会とも、レストハウス内にドーム型の移動プラネタリウムを設置し、観賞と解説をしてもらうことができた。	80	5.7 12.11	40,000	50,000
小学校校外学習対応	今年度は4校5回実施をした。実施内容としては、間伐材を利用したクラフト体験、身近な自然の観察(池、森、昆虫、野鳥、植物)や、間伐体験、草木染め体験など。		5.27 11.2 11.3 11.4 11.22	5,400	403,500

こども自然公園自然体験施設 令和4年度 事業報告書

<p>帷子川環境学習</p>	<p>旭区主催の環境学習で、我々は講師として協力。今年度で15年目にはいった。 昨年まで2年間は、コロナ禍の影響で現地学習ができずオンラインで対応していたが、久しぶりに川に入っの現地学習が復活した。</p>	<p>200</p>	<p>6.28 7.6 7.11 9.9 9.13 9.14</p>	<p>0</p>	<p>250,000</p>
<p>学びクラブ</p>	<p>相鉄ビルマネジメントと一緒に、島山重忠公について学びながら行なうクイズラリーを実施。二俣川駅からこども自然公園内にかけては、島山重忠公（令和4年はNHK大河ドラマが放映されていた）に関する史跡も多くあり、多くの方に知ってもらう機会となった。</p>	<p>50</p>	<p>8.11</p>	<p>0</p>	<p>50,000</p>
<p>タノシゴト</p>	<p>年間を通し、単発で水田を体験してもらった。 （田おこし、田植え、稲刈り、脱穀、もちつき、藁仕事の6回実施） どの回も抽選となるほど人気だった。特に、今年度は田起こしという作業も体験してもらい、泥で冷えたからだを温める「ドラム缶風呂」という非日常も体験してもらうことができ好評だった。</p>	<p>360</p>	<p>5.15 5.29 10.9 11.6 12.25 3.11</p>	<p>80,000</p>	<p>931,000</p>
<p>合計</p>				<p>190,400</p>	<p>2,309,308</p>

こども自然公園自然体験施設 令和4年度 事業報告書

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
なし					

こども自然公園自然体験施設 令和4年度 事業報告書

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	10,261,875			10,542,675		
利用料金収入	0			0		
自主事業収入	2,313,000			2,309,308		
雑入	0			6		
その他雑入	50,000			256,037		
収入合計 (a)	12,624,875			13,108,026		

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	8,100,000			9,124,761		
給与・賃金	7,000,000			7,500,335		
社会保険料	540,000			557,639		
通勤手当	300,000			798,867		
福利厚生費	0			0		
勤労者福祉共済掛金	140,000			143,520		
退職給付引当金繰入額	120,000			124,400		
事務費	2,500,000			3,673,049		
旅費	100,000			0		
消耗品費	900,000			1,286,577		
会議賄い費	90,000			88,781		
印刷製本費	100,000			120,120		
通信運搬費	200,000			213,199		
使用料及び賃借料	0					
(横浜市への支払い分)	0					
(その他)	0					
備品購入費	200,000			883,173		
保険料	60,000			136,770		
振込手数料	250,000			427,285		
リース料	350,000			254,100		
手数料	50,000					
その他事務費	200,000			259,200		
自主事業費	803,000			190,400		
管理費	600,000					
光熱水費合計						※横浜市負担
光熱水費 (電気)						※横浜市負担
光熱水費 (ガス)						※横浜市負担
光熱水費 (水道)						※横浜市負担
光熱水費 (下水道)						※横浜市負担
清掃費	200,000			0		
修繕費	100,000			0		
機械警備費	0					
公園及び公園施設設備保全費	100,000					
施設 (建物)・設備保守	0					
園地管理費	100,000					
その他保全費	0					
公租公課	500,000			53,700		
公租公課 (事業所税)	0					
公租公課 (消費税)	400,000					
その他公租公課	100,000			53,700		
事務経費 (本部分)						
雑費	121,875					
支出合計 (b)	12,503,000			13,041,910		
差引 (a - b)	0			66,116		

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	120,000					
設置管理許可支出合計 (d)	50,000					
差引 (c - d)	70,000					

(事業報告書様式12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価 (◎・○・△)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：達成目標、運営業務の実施方針、個別課題)	<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケートの実施 北部公園緑地事務所や公園内の他の施設との協働によりイベントを実施 	<p>新しい取り組みについてはアンケート(自由形式)を配布し記入してもらった。</p> <p>また、謎スタに関しては、北部公園協力のもと実施をした。</p>	○	
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> 計画した人員の配置 資格取得、講習修了 	<p>概ね、計画した通りに配置することができた。</p> <p>今年度は、資格取得に該当する者がおらず実施しなかった。</p>	○	
業務運営3 (事業計画書様式3：利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務のイベント(どんど、梅、観察会等)の実施 自主事業提案のイベントの実施 新規事業の実施 	<p>指定管理業務および自主事業提案のイベントについて、滞りなく実施することができた。新規として、夜のレストハウス活用の星空観察会も、2回実施することができた。</p>	○	<p>自然体験はとても人気があり、募集をするとすぐに定員をオーバーするぐらい人が集まるが、当日の無断欠席もたびたび見られ、さまざまな対策を考えているが、運営するにあたり、何かいいシステムがないか検討中である。</p>
業務運営4 (事業計画書様式3：広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新 SNSへのアップ 地域情報誌等メディアへの情報提供 	<p>イベントの発信を中心にアップすることができた。梅の花の開花時期には、地域の情報誌からの取材</p>	○	

組)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺小学校へのチラシ配布 	<p>などもあった。近隣小学校のご協力もあり、大々的に募集をする際にはチラシを配布していただいた。</p>		
<p>業務運営5 (事業計画書様式3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成 	<p>自然体験コースにおいて、新規のボランティア登録を獲得することができた。</p>	○	
<p>業務運営6 (事業計画書様式3：市の施策への協力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性への協力 	<p>自然体験コースにおいては、生きものに配慮した活動を実施した。 日常的な管理においても、草刈りの時期や範囲に配慮し、生きものに影響がでないよう注意をしながら進めてきた。</p>	○	
<p>業務運営7 (事業計画書様式4：文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの水田の姿を見てもらうため、湧水を利用した水田管理の実現 ・年数の経った雑木林の更新と、雑木の循環を活動に活かす ・人の手が入った湿地管理 ・それらを実施することで、生物の多様性が生まれることを、生き物観察等で見せる 	<p>湧水を利用した米作りを実施した。 コロナ禍により中止していたズーラシアとのコラボによる雑木林育成のための常緑樹間伐体験も復活をし、森づくりの体験が再開した。 湿地に関しても、ボランティアの人力による泥上げ作業により、一時期スゲ類に一面覆われていた湿</p>	○	

		<p>地が開墾された。</p> <p>全体的に、コロナ禍やカシノナガキクイムシによる雑木林の荒廃も、少し落ち着きを取り戻し、中断していた管理を再開しつつある。</p>		
<p>業務運営 8 (事業計画書様式 4 : 施設(建物等)、設備の維持管理)</p>	<p>・定期的に建物の内部および外部の整理整頓、清掃の実施</p>	<p>常に整理整頓や清掃を実施するようにしているが、少ない人数でやりくりをしている関係で、優先順位が下がってしまう。</p>	△	<p>少ない人数で、数多くのイベントに対応しているため、後回しになりがちなどころを改善する必要がある。</p>
<p>業務運営 9 (事業計画書様式 4 : 樹木、植栽等の管理)</p>	<p>・カシノナガキクイムシの被害を確認するため、年に数回の樹木チェックを行ない、枯木に関しては冬場に伐採を行なう。</p> <p>・園路側のガーデン部分については、定期的に管理を行ない、花の時期に来園者の皆さまが楽しめるように管理する。</p>	<p>被害が落ち着いてきたようで、今年度は被害木の伐採は1本のみ実施。</p> <p>園路側のバタフライガーデンをはじめとするガーデン部分については、定期的に行ない、来園者の皆さまから「楽しみにしている」というお声を数多くかけていただいた。</p>	○	<p>園路側のガーデン部分については、ボランティアの方にも入っていただけるよう来年度から準備をしたい。</p>
<p>業務運営 10 (事業計画書様式 4 : 巡視・清掃)</p>	<p>・定期的に管理地内の巡回を行なう。</p> <p>・事務所の清掃は、適宜行なう。</p> <p>・展示物等の整理、清掃を定期的に行なう。</p>	<p>管理地の巡回は年間75回実施した。</p> <p>コロナ禍により展示物の一部中止を行っているが、水槽展示は常設しており、定期的に水替えや生体の状態をチェックした。</p>	○	<p>イベントと重なった場合に、準備のためそちらに人手が取られ、なかなか巡回ができない日も数日あり、いかに改善するか課題である。</p>

<p>収支 (事業計画書 様式7：収入 確保、経費節 減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験施設や施設の置かれているこども自然公園を有効に活用したイベントを実施。 ・間伐した材を、薪として販売したり、間伐材を利用したイベントの実施を行ない、間伐材を処分する費用をかけず、管理をする。 	<p>イベントについては、定期的を実施することができた。 ここ数年続いていたカシノナガキクイムシの影響で、間伐した材を薪で販売することはできないが、内部で開催するイベントなどで利用し、処理している。</p>	<p>間伐材の薪を求める方が、ここ数年非常に多く、問い合わせが絶えない。おそらくコロナ禍からのキャンプブームにつながり、市販より安い薪を求める方が多いのだと思うが、このような循環が横浜市中で生まれれば処分費用もあまりかからず、欲しい方には多少安く手に入り、お互いのメリットにつながると感じた。</p>
--	---	---	--